

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

子どもの豊かな表現を促す活動のひとつに、歌唱が挙げられる。ピアノの伴奏は、子どもが歌うことの楽しさをより感じたり、歌うことへの意欲を高めるために、重要な役割を担う。本授業では、現場で必要とされる子どもの歌を課題曲とし、弾き歌いができることを目標とする。授業形態は、全体授業とグループ別個人レッスンを並行して行う。全体授業では、季節の歌、生活の歌、行事に関する歌等、主に八長調の曲を課題として扱う。各教員の、演奏者、子どもへの音楽指導、保育現場での音楽遊び指導としての経験を生かし、授業内では、歌唱及び伴奏法に関わる事柄についても指導する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス 音楽基礎知識の確認	(個人レッスン)
第 2 回	(全体授業) 八長調コード付けの理論と方法	(個人レッスン)
第 3 回	(全体授業) コード演習 「手をたたきましょう」	(個人レッスン)
第 4 回	(全体授業) 「大きなくりの木の下で」	(個人レッスン)
第 5 回	(全体授業) 「おかえりのうた」	(個人レッスン)
第 6 回	(全体授業) 「こいのぼり」	(個人レッスン)
第 7 回	中間筆記、実技試験	(個人レッスン)
第 8 回	中間試験の解説、課題曲の分析と表現	(個人レッスン)
第 9 回	(全体授業) 「かたつむり」	(個人レッスン)
第 10 回	(全体授業) 「はをみがきましょう」	(個人レッスン)
第 11 回	(全体授業) 「アイアイ」	(個人レッスン)
第 12 回	(全体授業) 「どんぐりころころ」	(個人レッスン)
第 13 回	(全体授業) 「とんぼのめがね」	(個人レッスン)
第 14 回	(全体授業) 弾き歌いグループ内模擬実践	(個人レッスン)
第 15 回	(全体授業) 八長調のコード付けまとめ	(個人レッスン)
第 16 回	実技試験	

到達目標

- ・ 曲を理解し、子どもの姿をイメージして弾き歌いができる。
- ・ 八長調の課題曲について、コード付けの理論と実践方法とを結び付け、自身で伴奏をつけることができる。
- ・ 課題曲習得に向けて、自身の課題を明確にし、計画的に実践することができる。

履修上の注意

- ・ 演奏の妨げにならないよう、爪を短く切ること。
- ・ 毎回、到達度カードに記入し、課題状況を確認すること。

予習・復習

- ・ 必ず、自主練習を行い、授業に臨むこと。
- ・ 授業における学びを確実なものにするため、必ず復習をすること。

評価方法

- ・ 実技試験 50%、中間試験 20%、提出物及び課題の取り組み 30%を総合して評価する。

テキスト

- ・ 教科書名：『改定ポケットいっぱいのおうた』
- ・ 著者名：鈴木恵津子、富田英也
- ・ 出版社名：教育芸術社
- ・ ISBNコード：978-4-87788-485-7

※その他、個別に講師と相談の上、使用テキストを決定する。